

# 令和2年度 北稜中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

## 1-2 「中学生チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

## 1 中学生チャレンジテスト・中学生チャレンジテストplus

学年 実施月日	生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)					
		国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語	
1年 1月13日	学校	134	63.0	62.5	63.7	74.2	77.5	10.4	2.6	5.5	1.2	1.4
	大阪市	—	55.1	56.2	53.3	65.6	62.7	12.4	4.5	8.0	3.0	3.1
大阪府	—	56.1	—	54.0	—	63.8	12.7	—	8.7	—	3.3	
2年 1月13日	学校	142	67.8	68.9	63.5	57.3	68.9	6.0	1.3	4.8	2.9	2.2
	大阪市	—	57.1	57.9	49.3	49.8	51.7	10.6	4.4	9.4	5.4	4.8
大阪府	—	58.3	57.4	49.4	49.5	52.0	10.1	4.8	10.0	5.8	4.8	

※ 1年生の社会・理科については、「中学生チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は 粒子 領域を選択

※ 2年生の社会は B 問題を選択

## 結果の概要

### 【1年生】

本校の分布の状況は府市いずれの度数分布多角形と比べても、各教科とも高得点側に広がっている。いっぽう、数学における5～19点の範囲に見られるように、各教科ともに少ないながらも得点力に課題のある層の分布がうかがえる。

問題別に見ると、府市の結果と同様、各教科ともに「記述式」問題の正答率に課題がみられる。

### 【2年生】

本校の分布の状況は府市いずれの度数分布多角形と比べても、各教科とも高得点側に広がっている。いっぽう、数学における5～24点の範囲に見られるように、各教科ともに少ないながらも得点力に課題のある層の分布がうかがえる。また、理科においては40～44点および70～74点をそれぞれ極大とするいわゆる『フタコブラクダ』状態の分布となっていることから、得点力のゆるやかな二極化がうかがえる。

問題別に見ると、府市の結果と同様、各教科ともに『記述式』問題の正答率に課題がみられる。

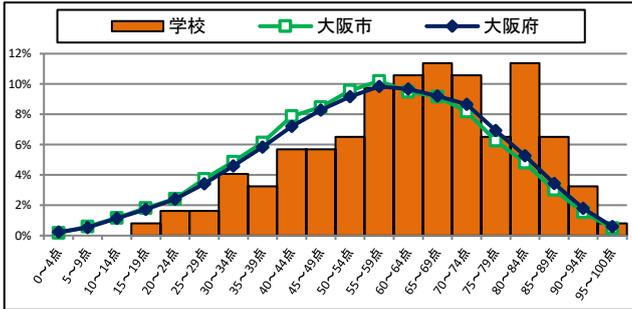
## 成果と今後取り組むべき課題

『授業と評価の一体化』を基に授業改善を図りながら、次年度についても社会、数学、理科、英語の4教科において習熟度別少人数授業を継続実施し、とりわけ学習に課題のある生徒について、基礎基本の定着を図り、各種学力テストにおけるいわゆる『フタコブラクダ状態』の解消に向けて取り組んでいく必要がある。

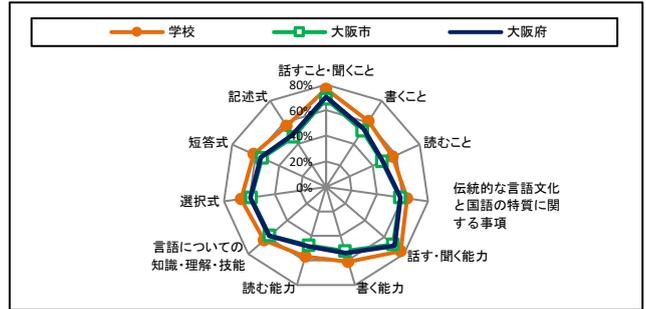
教育のICT化の一環として、教育効果が高いとされる、書画カメラの導入を進め、生徒の視覚的な理解を助け、より分かりやすい授業を目標として授業改善を図りたい。

【国語】

【得点分布】

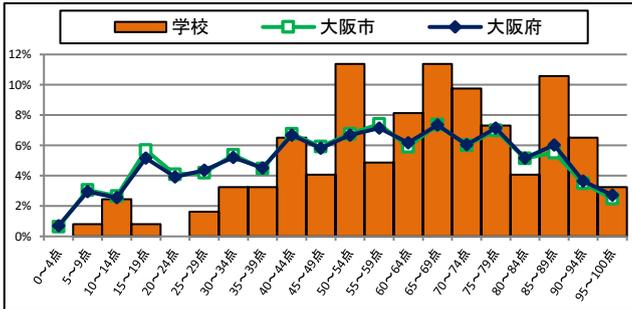


【領域・観点・問題別の分布】

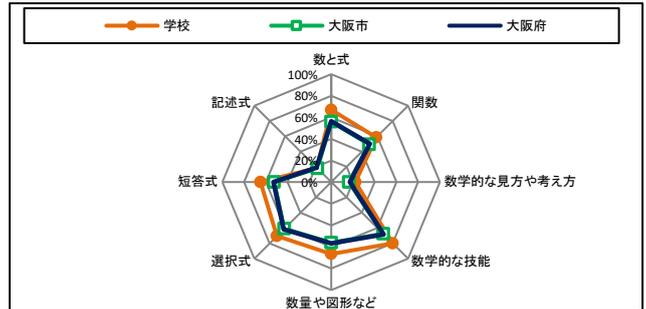


【数学】

【得点分布】

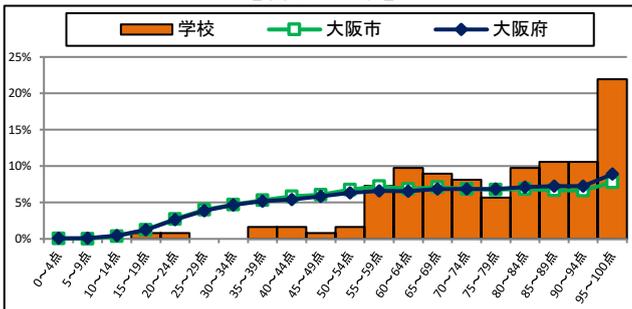


【領域・観点・問題別の分布】

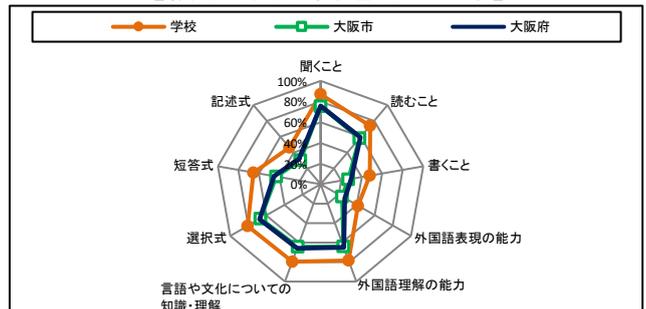


【英語】

【得点分布】

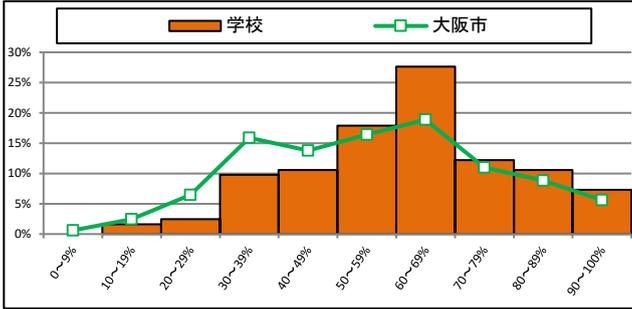


【領域・観点・問題別の分布】

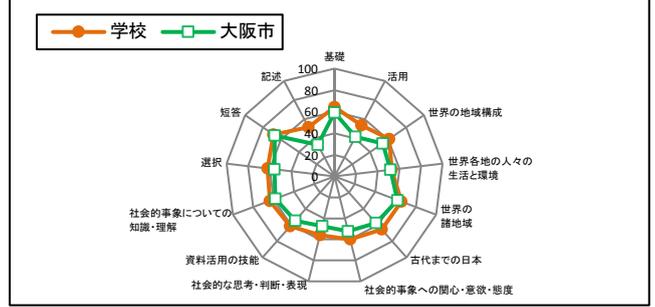


【 社 会 】

【正答率分布】

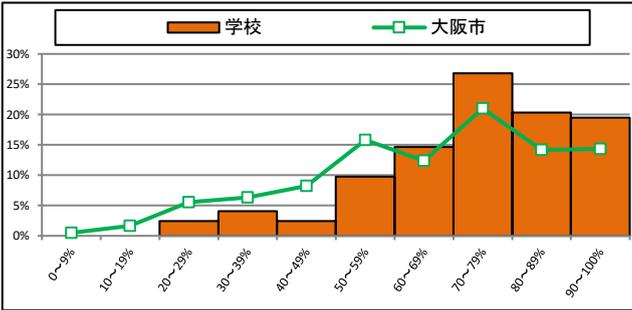


【領域・観点・問題別の分布】

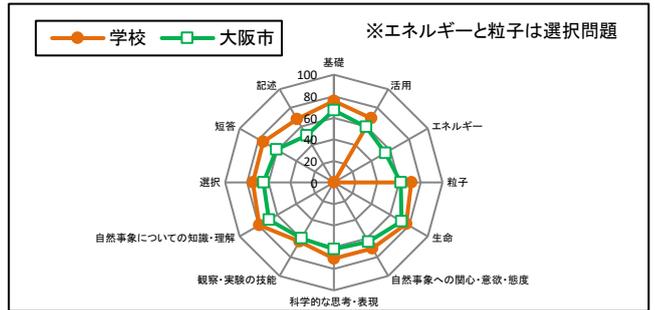


【 理 科 】

【正答率分布】

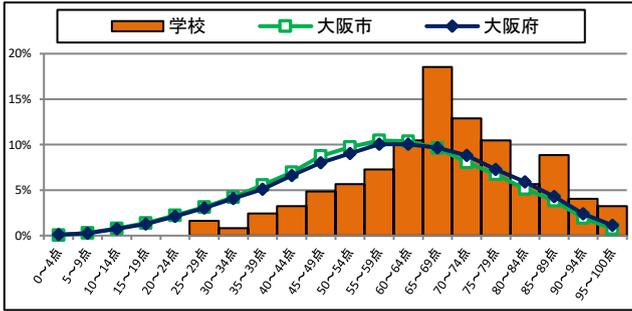


【領域・観点・問題別の分布】

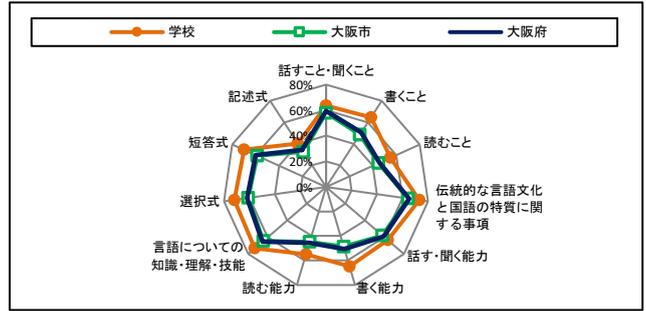


【国語】

【得点分布】

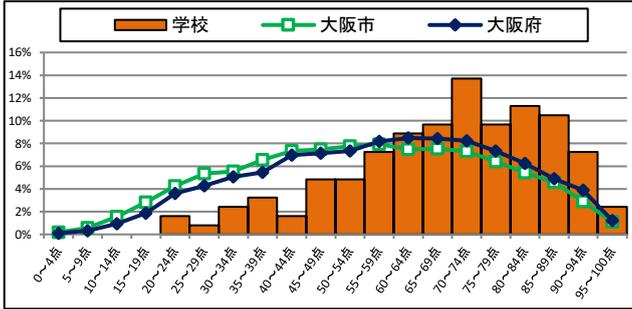


【領域・観点・問題別の分布】

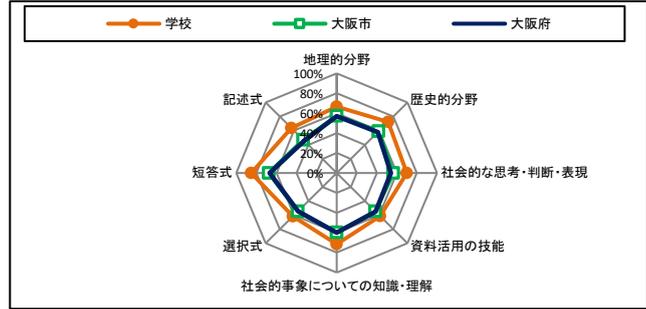


【社会B】

【得点分布】

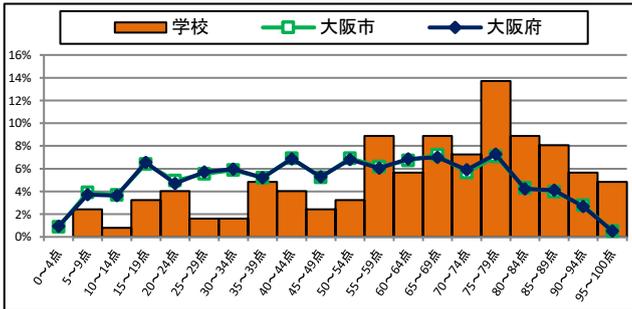


【領域・観点・問題別の分布】

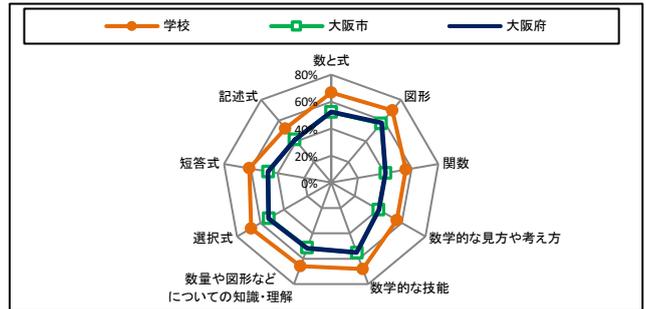


【数学】

【得点分布】

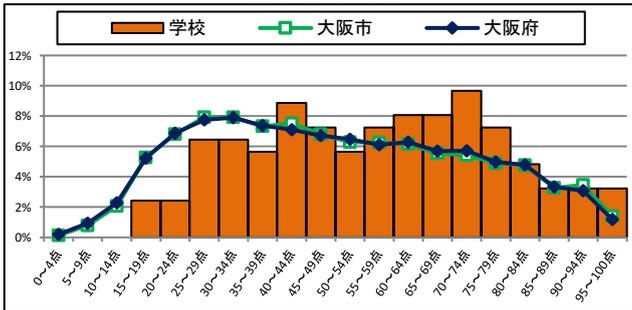


【領域・観点・問題別の分布】

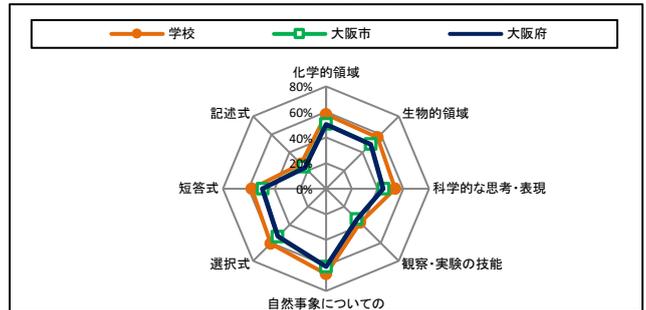


【理科】

【得点分布】

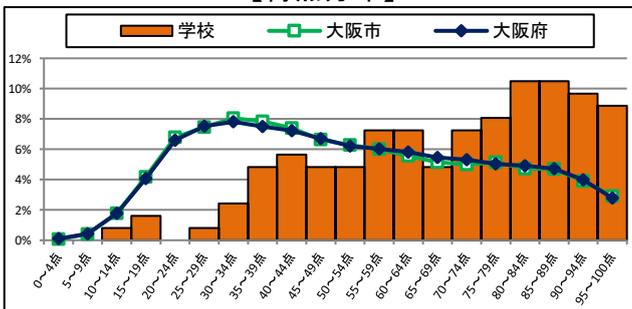


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

